

喘息・COPDの急性増悪時に使用する短時間気管支拡張剤について

喘息やCOPDなどの呼吸器の病気では、吸入薬で症状を起こさないようにコントロールしていきますが、それでも咳が止まらなかったり呼吸苦がしたりする時（急性増悪時）には短時間気管支を開くお薬を使います。

急性増悪時には、吸う力がより低下するため、ポンベを押して霧状に出てきたお薬を吸うタイプの吸入剤がよく使われます。このタイプの吸入剤は、加圧式定量噴霧式吸入剤（pMDI）と呼ばれます。

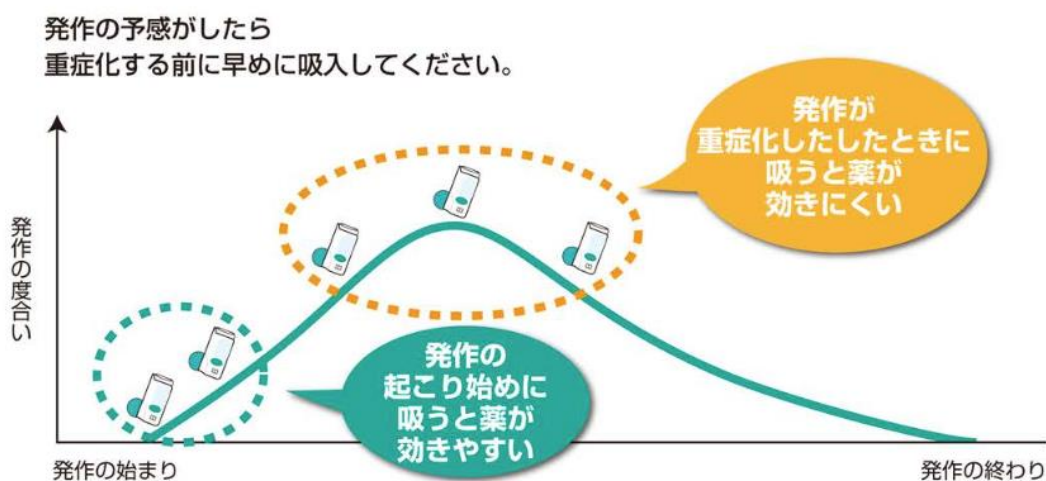
以下のいずれかが処方されることが多いです。

お薬の名前	メブチンエアー	サルタノールインヘラー
お薬の写真		
開封後の期限	使用期限まで	使用期限まで
ポンベが押しにくい時の補助具		
タイミングをあわせるのが難しい時の補助具	あり 	なし
カウンター	あり	なし
吸入前に振る	必要	必要
アルコール	含む	含まない
空打ち	2回	不要
お手入れ（裏面に洗浄可能部分の写真あり）	マウスピース（吸入口）は時々取り外し、温水でよく洗い、清潔に保管する（本体は絶対に水洗いしないこと）	アダプターは、少なくとも週1回以上流水か温湯でよく洗い、十分に乾燥させる。（洗浄・乾燥が不十分だと噴霧不良の原因になります。）

◆ 使い方

いずれのお薬も急性増悪時に 1 回に 1～2 吸入を指示されます。1 回に 2 吸入する際には 1 吸入目と 2 吸入目は、**1 分程度開ける必要があります**。これは連続して噴霧してしまうと、正しい量が噴霧されないためと、苦しい時の呼吸は浅くなっていて薬剤が十分量吸い込めない可能性があるためです。

◆ 吸入のタイミング



◆ 洗浄可能部分（いずれもポンベの部分は水洗いできません。）



メプチンの洗うべき場所は取り外し可能なマウスピースの部分です。



サルタノールの洗うべき場所はポンベを外したアダプター（灰青色）の部分です。

吸入がうまくできない、吸入薬のお手入れ方法がわからない、補助具を使いたいなどは、薬局でご相談ください。

